

コロナ感染症から子どもと教育を守ろう！(23)

新型コロナウイルスに関する通知などの情報や、府高教のとりくみ、現場の声をお伝えします。

支援学校教職員への ワクチン職域接種を実施

接種を希望する支援学校教職員が対象、府立高校教職員は検討中

府教委は、6月21日、支援学校長宛てに「府立支援学校教職員に対する新型コロナウイルスワクチンの職域集団接種について」を通知、「感染リスク、重症化リスクの高い児童生徒の指導にあたる支援学校の教職員」を対象として集団接種を行うとしました。なお、新型コロナウイルスワクチンの接種は予防接種法で「努力義務」となっていますが、接種は強制ではなく、あくまで本人の意思に基づき、接種を判断するものです。また、居住の市町村が実施するワクチン接種の機会が各個人に設けられており、「職域接種」はワクチン接種、普及を促進させるものです。

支援学校での実施の概要（※府高教作成）

実施日程	接種日程：6月末から8月中旬（土日に実施） ※接種日は、1回目と2回目の接種日（4週間の間隔）をセット
実施人数	最大1000人/日
対象者	・常勤職員（再任用短時間勤務者、常勤講師を含む） ・非常勤職員 （上記のうち、職域接種でのワクチン接種を希望する者）
接種ワクチン	武田／モデルナ社製のワクチン ※筋肉内に接種筋肉注射
申込方法	インターネットで申込み
費用等	・接種費用： <input type="text" value="無料"/> ・接種会場までの交通費： <input type="text" value="自費"/> ・接種後の副反応等による病院受診費用： <input type="text" value="自費"/>

希望する教職員への速やかな接種を！希望しない教職員へ不利益がないように

府高教は職場の実態や要求をもとに、府立高校においても早期に実施を実現すること、希望者全員へのワクチン接種が安全かつスムーズに運営されるよう折衝を強めます。また、ワクチン接種については健康上の理由などから接種を希望しない人が不利益を受けることがあってはいけません。引き続き、子ども、教職員のいのちと健康を守るために全力でとりくみます。

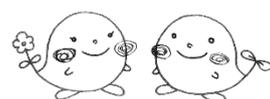
◆ワクチン接種…職免（遡って適用）

◆副反応の場合…職免

「職免」の申請について、各自治体の接種の予約票など日時が確認できるもので対応できます。副反応も診断書等は必要ありません。

現場の状況、声を届けてください

o s a k a f u k o @ k i n d . o c n . n e . j p



＼「仕方がない」をみんなで変える！あなたも府高教へ！／